

すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会（第14回）会議録（概要）

- 1 開催日時 平成25年（2013年）9月2日（月） 16時00分～17時30分
- 2 開催場所 吹田市役所高層棟4階特別会議室
- 3 出席者名簿 別紙「出席者一覧」のとおり
- 4 配付資料 資料1 マイバック持参率の現状について
資料2 平成25年度 第1回すいたマイバックキャンペーン実施実績
資料3 平成25年度 第2回すいたマイバッグキャンペーンについて（案）
資料4 北摂地域共通キャンペーン実施企画（案）
資料5 次年度以降の協定の方向性について（案）
資料6 吹田市におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定内容
参考資料 すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会 意向調査集計
- 5 会議要旨 以下、「会議要旨」のとおり
 - 1 マイバック持参率の現状について（報告）
 - 2 マイバックキャンペーンについて
 - （1）第1回キャンペーンの報告について
 - （2）第2回キャンペーンについて
 - 3 北摂地域共通キャンペーンについて
 - 4 次年度以降の協定について
 - （1）持参率の目標について
 - （2）協定内容について
 - （3）協定有効期間について
 - 5 その他
 - 次回の開催候補日について

会長挨拶

- 1 マイバック持参率の現状について（報告）

【事務局】 資料説明

【会長】 事務局より説明があったが、光洋さんを除いた平均値とすることでよいか。

【全員】 異議なし

2 マイバックキャンペーンについて

(1) 第1回キャンペーンの報告について

(2) 第2回キャンペーンについて

【市民団体A】 第1回キャンペーンについて報告および、第2回キャンペーンについて提案。

【事務局】 第2回キャンペーンの日程について説明

【全員】 異議なし

3 北摂地域共通キャンペーンについて

【事務局】 資料に基づき説明。実施日を10月22日としていたが、議会の関係の予定が入る可能性がでてきた。日程については再度調整させていただきたい。

【会長】 各市町どれくらいきていただけるのか。

【事務局】 日程が変更となることから、再度調整するため確定していない。

【学識経験者】 共通でキャンペーンを実施するだけでなく、終了後に意見交換や反省会の場を設けることが後々の連携に有効である。

【事務局】 今後も意見交換を持ちたいと思っており、連携を強化していきたい。

【会長】 どれくらいの人数が参加するのか。

【事務局】 現在調整中である。また、日程が変更となる関係で、現時点では分からない。

【会長】 みんなが同じレベルで参加してこそ共通キャンペーン。実態がわからないので整理してほしい。

4 次年度以降の協定について

(1) 持参率の目標について

(2) 協定内容について

(3) 協定有効期間について

【事務局】 資料に基づき説明

【会長】 北摂地域として何十%という問題がでてくる。

【事務局】 協議会形式を取っているのは吹田、豊中のみ。その他の市町については具体的な目標をもっていない。他市との調整は今後の課題と思っている。

【会長】 持参率なかなか上がらない。事業者が成り立つ方法考えながら市民団体に対しての取り組みしていないのではないか。チラシを自治会で回覧するなど他にもやり方がある。協定書の方向性について、みなさんのご意見を伺いたい。

【事業者A】 60%は高い。共通の数値とするのか、各社数値をそれぞれ設定するか、

どちらか。

【事業者B】 事業者Aさんと同意見である。有料化する必要もあるのではないか。

【事業者C】 当社は50%台の持参率があるので、目標値を下げることはよくないと考えている。

【事業者D】 当社は江坂地域22%前後。サラリーマンが昼食時、夕方に来店されるが、マイバックはほとんど持っていない。他市と協定を締結しているが、事業者ごとの目標設定となっている。吹田市も同様に事業者ごとの目標設定としてもらいたい。

【事業者E】 60%をクリアするには有料化しないと難しい。協定書に関しては、江坂地域以外の店舗もあるのでこのままでよい。

【事業者F】 地区別に目標値をたてて、それに向けて実施するのがよい。

【事業者G】 例えば来年の4月に行政、市民団体、事業者が横並びになって有料化に向けて取組めたらよい。率先して取り組む姿勢である。それができないなら、目標値を持参者と非持参者の半分ということで、50%にするべき。

【事業者H】 高い目標を達成することは難しい。有料化すれば目標を達成できるのではないか。

【事業者I】 60%の目標を達成するには有料化しかない。吹田市や北摂市町と横並びとなり実施するしかないのでは。また、レジ袋がごみ袋となっている。行政がごみ袋として使用できないようにしていただかないと減らない。

【市民団体B】 レジ袋があれば便利だが、なぜレジ袋がだめなのか分かってもらえれば60%達成もできるのではないか。

【会長】 なぜレジ袋がだめなのか分かっている人には、マイバックが浸透している。分かっている人の意識を変える必要がある。これは行政がやらないといけない。

【市民団体C】 レジ袋有料の日を設定してみるというのはいかがでしょうか。

【会長】 レジの設定の問題等ありそんなに簡単にできるものではない。事業者は様々な問題がある。

【市民団体D】 ごみ袋の無料配布を廃止したときに、ごみ袋を有料化しておけばよかった。まず、レジ袋をごみ袋として使用できないようにして、その後有料化してはどうか。

【会長】 ごみの仕訳用として使用する人がいる。なぜ減らさないといけないのかを十分周知しなければいけない。60%に達成させるために、もう一度分析し、整理するべき。

【市民団体・A】 なぜマイバックが必要かということを理解していただくため、市報・出前講座等で周知していく必要がある。

5 その他

次回の開催候補日について

11月19日（火）14時から吹田市役所特別会議室で開催することとなった。